

『街場の天皇論』で話題沸騰中！ 内田樹の新刊が早くも登場！ 12月7日発売

ローカリズム宣言

「成長」から「定常」へ

内田 樹／著

発行：デコ 予価1600円(税別)

移住雑誌『TURNS』連載の「若者よ！ 地方へめざせ」に大幅に加筆修正！
資本主義が崩壊しつつある今、本当に豊かな生き方とは？ ヒントは「ローカル」と「定常経済」にあり！

都市から脱出する以上、資本主義の常識はいったん棄てる必要があります。
「脱都会」は同時に「脱市場・脱貨幣」経済へのシフト、
「成長モデル」から「定常モデル」へのシフトを意味しています。（第3章 国家の「株式会社化」より）

守るべきは「お金」よりも「山河」。

内田氏は、成熟した社会の日本がこれ以上経済成長をめざせば、「教育、医療、治安、自然環境などの公共サービスが、いずれ市場に投入され、金持ちだけが高度な教育や医療を受けて快適に暮らせる社会になってしまう」と警鐘を鳴らします。あらゆるものが「お金」に一元化され、格差が拡大しつづける現代社会に、疑問を感じているすべての人にぜひ読んでいただきたい1冊です。とくに若い方々が、「これからの日本」について深く考えるきっかけとなれば幸いです。



いま感度のよい若者は「都市」から脱出し、「地方」をめざしている

- 第1章 脱「経済成長」——グローバル資本主義は終焉する
- 第2章 「山河」を守る——「成長」から「定常」へシフトせよ
- 第3章 国家の「株式会社化」——サラリーマンマインドを捨てよ
- 第4章 「定常経済」と「贈与」——先人の資産を次世代へパスせよ
- 第5章 「小国寡民」と「ハイパー・グローバル」——「グローバリズム」と「アンチ・グローバリズム」の安定点を探せ
- 第6章 「廃県置藩」のすすめ——日本をローカルに「分節」せよ
- 第7章 地方で生きるとのこと——脱都会で人間的成熟をめざせ
- 第8章 「個人」から「集団」へ——共同体主義で「危機」を乗り切れ
- 第9章 脱「市場経済」——市場に委ねる部分を減らしていく
- 第10章 脱「地方創生」——地方創生の狙いは冷酷なコストカット
- 第11章 脱「国家」——国家の存在意義が急速に失われつつある
- 第12章 定常経済へ——「小商い」で生き延びろ
- 第13章 脱「マスメディア」——真偽を見きわめる直感力を身につける
- 第14章 脱「査定」——これから君たちはどう生きるのか？

内田 樹(うちだ・たつる)

1950年東京生まれ。神戸女学院大学名誉教授。京都精華大学客員教授。昭和大学理事。神戸市内で武道と哲学のための私塾「凱風館」を主宰。合気道七段。『私家版・ユタヤ文化論』で第六回小林秀雄賞、『日本辺境論』で2010年新書大賞。執筆活動全般について第三回伊丹十三賞を受賞。近著に『日本の覚醒のために』、『街場の天皇論』など。

ご注文申し込み書 貴店名/帖舎	注文数	発行：株式会社デコ
		<h2>ローカリズム宣言</h2> <p>「成長」から「定常」へ 内田 樹/著</p> <p>冊 四六判(188mm×128mm)／280ページ(1C)／並製／予価 1600円(税別)</p> <p>ISBN 978-4-906905-16-4 C0095</p>

ご注文は(株)JRCへ FAX 03-3294-2177 (TEL:03-5283-2230)

株式会社JRC経由で、すべての取次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。